

高校再編に係る再編実施基本計画について

高校再編推進室

1 概要

「高校改革～夢に挑戦する学び～再編・整備計画」で示した再編統合について、統合新校ごとに開催した「新校再編実施計画懇話会」における意見交換を踏まえ具体的な再編・整備を進めるため、統合新校ごとの再編実施基本計画を決定する。

2 今回策定する再編実施基本計画

- 小諸商業高等学校と小諸高等学校の再編統合
- 伊那北高等学校と伊那弥生ヶ丘高等学校の再編統合

3 今後のスケジュール

令和4年2月議会定例会において議会の同意を求める事件案を提出予定

(参考)

- 高校の将来像を考える地域の協議会からの意見・提案を受ける
 - ・佐久地域の高校の将来像を考える地域の協議会（令和元年11月～令和2年1月）
 - ・上伊那地域の高校の将来像を考える協議会（平成30年6月～令和元年9月）
- 「高校改革～夢に挑戦する学び～再編・整備計画【一次】」を決定（令和2年9月）
- 統合新校ごとに新校再編実施計画懇話会を開催し、「再編実施基本計画」に係る項目についての意見交換をまとめる
 - ・小諸新校再編実施計画懇話会9回開催（令和2年12月～令和3年12月）
 - ・伊那新校再編実施計画懇話会10回開催（令和2年11月～令和3年12月）

<主な意見交換内容（再編実施基本計画に係る項目）>

募集開始年度、校地校舎、設置学科、募集学級数、新校の学校像等

小諸新校（仮称）再編実施基本計画

1 再編統合対象校

小諸商業高等学校、小諸高等学校

2 募集開始（開校）年度

令和8年度

今後両校の学校規模の縮小化が避けられない状況の中、できるだけ早期の統合が必要であること、施設の整備期間等を考慮し、令和8年度を新校の募集開始年度とする。

3 活用する校地・校舎

小諸商業高等学校

通学の利便性と、小諸市が進めている「多極ネットワーク型コンパクトシティ」のまちづくり構想と連動した新たな高校づくりの観点から、小諸商業高校を新校の校地校舎として活用する。

4 設置課程・学科及び開校時に想定する募集学級数

全日制課程 普通科3学級、商業科3学級、音楽科1学級

定時制課程 商業科1学級

※学科の名称等は、今後編成する教育課程等に基づき、開校前年度に決定する。

普通科・音楽科・商業科を置く新しいタイプの普通科・専門学科併設校とする。

佐久地域の中学校卒業予定者数の推移や現在の募集学級数から、新校の開校年度には7学級程度が想定される。

東信地域全体の配置状況を考慮し、定時制課程を設置する。

※新校開校時の募集学級数は、毎年度定める「長野県立高等学校生徒募集定員」により開校前年度に決定する。

5 統合新校の学びのイメージ

別紙のとおり

両校が築いてきたこれまでの学びを通し、「地域を舞台に多様性を重視しグローバルな視点で未来を創造する3科融合校」を構想する。

6 統合新校の施設整備について

新校の学びに必要な施設整備及び、高校施設の著しい老朽化と社会や学びの変化に対応し質的向上を図っていく。

・施設整備に係る概ねの期間 4年程度を想定

小諸新校の学校像

《地域を舞台に多様性を重視しグローバルな視点で未来を創造する 3科融合校》

【基本理念】

実践的な学びを通して本物に触れ、年齢や立場を越えた様々な人たちや多様な進路を志すもの同士が協働して学ぶことで、新たな社会や価値観を創造する人を育む。

【教育方針】

- (1) 地域をフィールドとした協働的・探究的な学びを通して、地域の発展に貢献できる「課題発見力」や「探究力」を育む。
- (2) グローバルな視野で、コミュニケーション力や多様な観点から批判的に考察する力を育む。
- (3) 主体的な学びを通して、自らの可能性と未来を切り拓く力や、より大きな夢に挑戦する力を育む。

【新校で重視する学びの姿勢】

主体的により良い社会の実現を目指す姿勢



何をどのように学ぶのか探究する姿勢

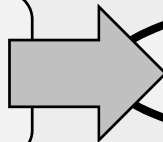
《新校の学びの柱》

地域と連携した学び

学科・教科横断型の学び

本物に触れる学び

- 多様性を大切にする学び
- ワクワクする学び
- 小諸ならではの学び



小諸共学共創コンソーシアム
地域の人々と共に学び
地域の未来を共創

商業科

普通科

音楽科

学科・教科横断型の授業を展開、実社会をフィールドとした3科のハーモニー

○商業の専門性を伸ばし、地域を舞台にした実践的な学びを通して、未来を拓くイノベーションの担い手の育成を目指す

○協働的に地域課題を探究する学びを通して、多様な進路への可能性を追求し、高いレベルでの自己実現を目指す

○音楽の専門的な学びに加え、他科と融合した諸活動を通して、世界を舞台に、それぞれの夢を実現する力を養成する

主体的・協働的に生き方や学ぶ意義を考える、新校独自の探究的プログラム

◆小諸商業高校の定時制商業科の学びは新校に継承

伊那新校（仮称）再編実施基本計画

1 再編統合対象校

伊那北高等学校、伊那弥生ヶ丘高等学校

2 募集開始（開校）年度

令和 10 年度

今後両校の学校規模の縮小化が避けられない状況の中、できるだけ早期の統合が必要であること、施設の整備期間等を考慮し、令和 10 年度を新校の募集開始年度とする。

3 活用する校地・校舎

伊那北高等学校

日常行われる教育活動の充実につながる校舎と一体となっている敷地（校地）の広さを考慮し、伊那北高校を新校の校地校舎として活用する。

併せて、伊那弥生ヶ丘高校の第 2 グラウンドも有効に活用する。

4 設置課程・学科及び開校時に想定する募集学級数

全日制課程 普通科 6 学級、特色学科 2 学級

※学科の名称等は、今後編成する教育課程等に基づき、開校前年度に決定する。

普通科と特色学科を設置し、新たな学びに対応したシステムを導入する。

上伊那地域の中学校卒業予定者数の推移や現在の募集学級数から、新校の開校年度には 8 学級程度が想定される。

※新校開校時の募集学級数は、毎年度定める「長野県立高等学校生徒募集定員」により開校前年度に決定する。

5 統合新校の学びのイメージ

別紙のとおり

地域と大学、研究機関等との協働した探究を核とし、個別最適な学びを実現する、「自らの可能性を切り拓き、夢の実現に果敢に挑戦する高校」を構想する。

6 統合新校の施設整備について

新校の学びに必要な施設整備及び、高校施設の著しい老朽化と社会や学びの変化に対応し質的向上を図っていく。

・施設整備に係る概ねの期間 6 年程度を想定

自らの可能性を切り拓き、夢の実現に果敢に挑戦する高校

目指す
学校像

- 「探究」を核とした学びを通して、自己実現と社会貢献を目指す
- 他者との協働を通して、多様な価値観を共有し人間性を育む
- 自主的な活動や創造的な活動を通して、主体性を育む

新たな学びに対応したシステム



「探究」をベースにした教育活動
個別最適な学びを実現する“単位制”
文理融合した学び・教科横断型授業の展開
大学・研究機関・企業・自治体などと協働した学び



1年次：必履修科目を中心に履修

2・3年次：自分の学びを自分でデザインし、履修する科目を選択

普通科

探究を核として持続的な学びを実現する学科

- 地域課題を基に日本、世界に目を向け、これからの社会の核となる人の育成を目指す
- ◇ 地元自治体など、コンソーシアムとの連携による、ローカルな視点とグローバルな視点で行う探究活動
- ◇ 自らの興味関心や進路希望に応じて選択ができる多様な科目の設置

特色学科

高度な探究により、卓越した学びを実現する学科

- 学問的真理を追究する意欲、社会の課題解決への挑戦心や使命感を持つ人の育成を目指す
- ◇ 大学・研究機関をはじめ、コンソーシアムとの連携による、応用的・発展的な探究活動
- ◇ 課題研究や先進的な探究を行う科目、高度な内容を扱う科目などの設置

連携・協働

上伊那共学共創コンソーシアム

多様な人々と学び合い、地域課題の解決や地域の活性化・イノベーションの創出を目指すコミュニティ



医療機関



大学



企業



自治体



国際機関



上伊那広域連合

等